

人と防災未来センター
語り部(ボランテア)
萩野恵三
君子

命さえあれば何もいらない……
耐えた叫んだ 極限状態の七時間
幸運に幸運が重なって倒壊家屋下の生
き埋めの状態から 奇跡の生還 御恩返し
夫婦で活動七年 使命となり頑張ります



倒壊した家屋の全景

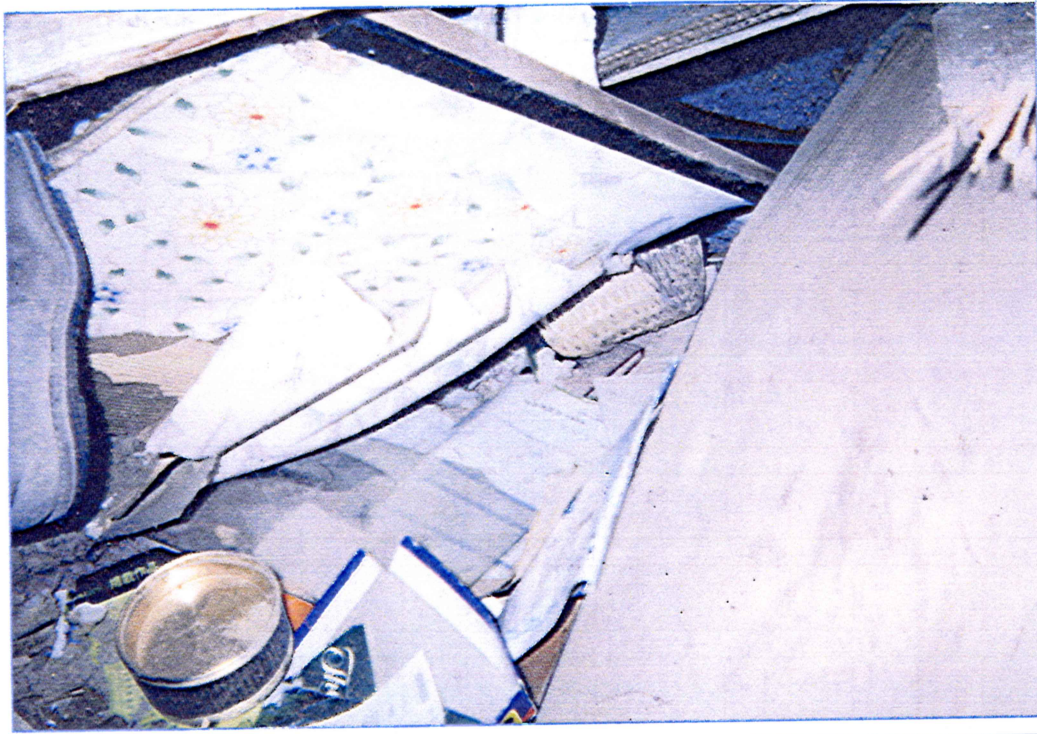


【写真①】 木造二階建て 一階は約40cm その下に生き埋めに!!
夫婦とも上向きに寝た状態で、石膏がセメントで固められたように埋まっています、極限状態に……
ガス管が破損したのかガスの臭いと土の臭いが充満。

【写真②】 バイク2台
ガソリンが漏れ危機一髪のところ……



【写真③】
二階の床が家具調コタツまで落ちてきた。



【写真④】『命を守ってくれた襖』
凶器の土砂を防ぎ窒息しない
ように守ってくれた襖

【写真⑥】『幸運にも隣人は大工さん』
大工道具をもった専門家の助けがあって、二階の押入れ
から救出された。
崩壊を防ぐつかい棒はさすが。



【写真⑤】家族で片付け、荷物を出しているところ
二階は和室、一階は台所



【写真⑦】危険なため、下敷きになっていたバイク2台、
を取り出すのにこの部分のみ先に切り取り。
後は解体の順番待ち。